斜面変状モニタリング（DX監視モニタ）を使用した崩落法面の監視

能登復興事務所 NOTO Reconstruction Office

○国道２４９号（曽々木工区）　施工者：（株）大林組

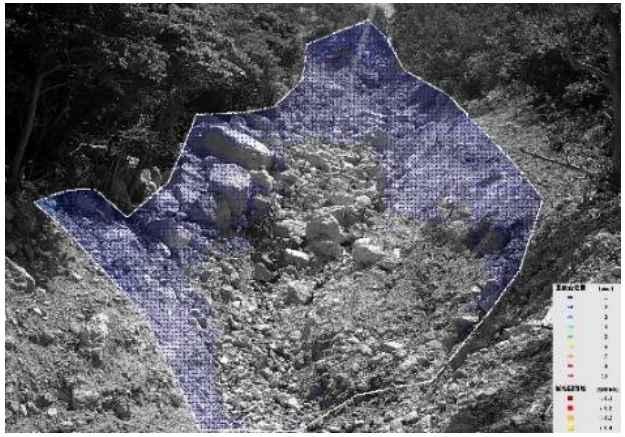
・令和6年度能登半島地震及び同年9月の大雨により甚大な地すべり被害が発生した石川県輪島市町野町曽々木地区では、落石等による二次災害の恐れがある環境下で災害復旧工事を実施している。
・崩壊した法面の変化を常に監視することにより、近傍で作業する作業員の安全を確保し、効率的な災害復旧工事を推進している。

＜工事名＞令和6年度能登半島地震地すべり（曽々木・渋田）緊急復旧工事

＜活用企業＞株式会社　大林組、　＜開発企業＞国際航業　株式会社

曽々木地区監視場所

DX監視モニタ設置状況



DX監視モニタ解析画像

DX監視モニタ概要